

ブロックケア会議の現況と支援困難事例について

H 1 9 / 2 / 2 1

1 開催状況

ブロック	事務局在介	ブロック内の在介	開催月日	主な協議事項
第一・第二・浅川・芋井 鬼無里・戸隠	城山	博愛の園、鬼無里 戸隠	6月19日 2月19日	介護予防事業について 地域包括支援センター博愛の園開設に伴うご案内
三輪・吉田・若槻	ケアポート三輪	あぐりケア吉田 若槻ホーム	7月27日 3月8日	地域包括支援センターとの連携、支援困難事例について 地域包括支援センターについて(居宅介護支援事業所も参加)(予定)
古里・柳原・長沼・豊野	富竹の里	豊野	8月4日 3月7日	高齢者虐待防止のために取り組めること 実践報告、グループ討議 ブロック内の医療、介護、保健の機関、事業所の連携 事例報告、グループ討議(予定)
安茂里・七二会・小田切	安茂里		6月26日 10月6日 3月6日	高齢者虐待について、事例検討 口腔ケアと嚥下障害 来年度の事業の取り組みについて(予定)
第三・第四・第五・芹田	長野赤十字病院	中御所	6月14日 11月15日	各地区の現状報告「認知症の方へのリハビリ」「地域包括支援センターの紹介と保健センターの役割」 各地区の現状報告「療養病床と介護保険施設の今後の動向」「口腔ケアの必要性(予防の観点から)」「地域支援事業の概要」
古牧・朝陽・大豆島	コンフォート岡田	アイリスケア高田	6月21日 10月11日 3月初旬	会員機関からの報告、ケアマネジャーによる事例検討 地域包括支援センターの役割と現状報告 ケース報告とグループ討議 今年度の反省と来年度の方向性 事例検討(予定)

川中島・更北	コスモス	インターコート藤星のさと	6月5日 9月4日 11月6日 2月5日	介護保険制度の改正について 地域ですすめる介護予防について 来年度へ向け、地域の中で介護予防をどのようにすすめていくか 今年度のまとめ
篠ノ井・信更・大岡	篠ノ井総合病院	星のさと やすらぎの園、 桜ホーム 大岡	7月26日 12月4日 3月1日	介護保険制度改正について 地域支援事業の理解を深める 今までの介護予防の取り組みを踏まえて今後どう取り組んでいくか、ブロックケア会議の今後の方向性について(予定)
松代・若穂	長野松代総合病院	ユートピアわかほ	7月27日 3月初旬	介護保険制度改正後の現況について 出席者の話し合い 内容検討中(予定)

2 協議内容(実施分・重複)

(1) 介護保険制度の改正に関する協議	(ケアポート・コスモス・松代・篠ノ井)	5回
(2) 地域包括支援センターについて	(城山・ケアポート2回・赤十字・コンフォート)	5回
(3) 事例検討(支援困難事例)	(ケアポート・赤十字・コンフォート)	3回
(4) ブロック内の保健・福祉・医療関係者等との連携会議(ケアマネジャー連絡会を含む)	(赤十字・ケアポート・富竹・コスモス2回・篠ノ井2回・松代)	8回
(5) 介護予防について(地域支援事業含む)(城山・安茂里・コスモス・篠ノ井)		5回
(6) 高齢者虐待について	(富竹・安茂里)	2回
(7) 事業の反省や今後の方向性	(安茂里・コンフォート・コスモス・篠ノ井)	4回
(8) その他(認知症、口腔ケアなど)(赤十字)		1回

主な議題のみを取り上げました。

3 ブロックケア会議から市ケア会議への報告

(1) 支援困難事例・・・長野市ケア会議で特にアドバイスや各団体での検討を求めるケースは特にありませんが、ケース検討された事例は下記のとおり。

対象者・性別・年齢等	内 容
84 歳女性 要介護 1	精神疾患がある孫娘との生活に困難を抱えているケース。孫娘から再三ケアマネジャーに相談あり。保健センターや基幹型の在宅介護支援センター（地域包括支援センター）などへ相談したが、ケアマネジャーは精神疾患の家族の対応にまで苦慮している。
80 歳男性	家族に介護力がなかったが、ターミナル状態の本人に自宅へ戻りたいという強い希望があった。在宅介護支援センター、ケアマネジャー、民生委員、介護保険のサービス事業所などで、緊急時夜間体制をとり、自宅で永眠されたケース。2日間だったので可能だったが、長期間では無理があった。

(2) 介護保険事業者等との情報交換関係・・・協議内容等の報告・・・

- 居宅介護支援所の出席が定着している。民生委員との連携を図る機会であったり、ケアマネジャーとしての立場を認識してもらえる場となっているようである。
- 担当地域内の介護保険サービス事業所に参集してもらった。ケースを発表した後、グループ討議の中で、各事業所としてどんな支援ができるかについて話し合った。今後事業所同志の交流をどう深めるかが課題である。
- 南部地域ブロックケア会議ケアマネジャー研修会を開催し、事例検討及び介護保険制度について研修した。

(3) 地区ケア会議関係

- 近年、個人情報保護法が施行されたことで、活動がしにくくなっている。以前なら地域での見守りということで民生委員や近隣住民が一人暮らし等の世帯の情報を持っていて支援したものだが、支援しにくい。今はケアマネジャーがいるとそちらだけで話が進んでおり、民生委員のかかわりが薄くなっている。もっと地域資源を活用して欲しい。同時に地域のネットワークづくりを進めていかなければならないと感じている。
- 全体で知ってほしいケースについて、時々発表が行われる。ケースの相談も行われる。
- 各機関からの連絡や情報交換、各部会報告。